

とうきょう すくわく

テーマ 音

テーマを設定する

- ・音を感じて自由に表現してみる

環境をデザインする

○準備物

ウクレレ・パーラック・ウッドストック・トライアングル

探求活動を実践する

○活動内容

子どもの行動を見守り、子どもから出てきた発想を広げていく

◇子どもの様子

楽器選びも自由に行い活動を始める。乱暴な扱いをする子には大事に使うように伝え、音の出し方や楽器の使い方には触れず子どもの発想に任せた。部屋を蛇行しながら演奏する子に釣られ、列が長くなるとさらに盛り上がった。様子を見ているといつも保育士が立つ位置に一列に綺麗に並び出したので、口ずさんでいたクリスマスソングを流すと、演奏会が始まった。

園名	もりのおがわ保育園
期間	全6回（10月2回・11月4回・ 12月1回
実践者	岡山理絵子
対象年齢人数	2歳児クラス

プログラム 活動報告書



振り返り・気づき

振り返り

楽器に触れる機会が少なかったクラスだったので、興味を持つ子は多かった。音の出しやすそうな鈴やタンバリンを持つ子が多く、楽器の数を心配したが、トラブルなく活動が進み良かった。2～3人が興味を長く遊び続けた事で、歌ったり、歩いたりと変化が見られた。その活動が多くの子を引き付けられる物になって良かった。またそれらの行動に気付けたことで、遊びを展開する事が出来て良かった。

反省・次回への課題

音に触れ、体で感じる事で、歌いたい、歩きたいと子どもの中で感じた表現が見られ、楽しい経験となった。年齢による興味の持ち方に配慮して環境を筒の得ていきたい